

## 「あなたが信じるなら・・・」 ～あなたは本当に信じれていますか？～

ヨハネ11：1～45

あなたは何を信じていますか？私たちは「信じる」ことに価値があります。それは「信じる」ことは地上で唯一、私たち人間が持っている素晴らしい能力だからです。ですから、「信じる」ことができなくなっているのなら信じる心を取り戻して欲しいと思います。そして何を信じるのか？今日受け取ってもらいたいのは、私たちがどうであれ「神様があなたを愛していること」そのことを受け取って欲しいのです。信じる力があらかじめ私たち人間には備わっていますが、裏切られたりすることによって、その力を失ってしまうことがあります。裏切られた時、私たちは何に傷つき信じる力を失ってしまうのでしょうか。人が人を裏切ってしまうとき最終的に相手より自分の優先順位が勝り、結果裏切るという行為になります。ですから、裏切られた事象に傷ついているのではなくて、裏切った相手が相手と自分を比較し自分の方を切り捨てたという劣等感にさいなまれ傷つくのです。そして自分を愛せなくなり、信じられなくなってしまいます。信じられなくなることを神様は悲しんでいます。損得勘定で判断していませんか？私たちは環境の中で大事にされているか？いないか？判断してしまいます。また損得感で判断してしまっています。最近の研究結果で、人はお金では揺るがない、信念がある事がわかりました。人には譲れる信念と、譲れない信念があります。一般的にスポーツをしている多くの人たちや、人生でアイデンティティを見つけた人は、損得勘定で判断せずに、信念で判断することができるそうです。であるなら、神様の愛を知っている私たちがあればなおのこと神様が与えて下さっている信念があり、その信念を貫き通すことができるのです。今日の聖書の箇所に出てくるマリヤという人は、イエス様はなんでも出来ると信じていましたが、ラザロという人が死んでしまった時、疑ってしまいました。しかしイエス様が行いたかったのは信じる者は神様の栄光を見ることを、知って欲しかったから、すぐに駆けつけずラザロが死んでからラザロの元へ行ったのです。マリヤはイエス様によって愛されていました。でも、イエス様に対して、裏切られた様に思っていました。「早く来てくれていれば助かっただろうに」そんな思いになっていました。これは神様を小さくして、箱に入れてしまっているようなものでした。時に私たちは神様の存在を、小さくしてしまいます。イエス様の十二弟子の中で、トマスという人がいます。トマスはイエス様が復活したことを疑いました。『ヨハネ20:26～29 八日後に、弟子たちはまた室内におり、トマスも彼らといっしょにいた。戸が閉じられていたが、イエスが来て、彼らの中に立って「平安があなたがたにあるように」と言われた。それからトマスに言われた。「あなたの指をここに付けて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしのわきに差し入れなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」』また、イエス様はマリヤに次のようにも語られました。『ヨハネ11:40 イエスは彼女に言われた。「もしあなたが信じるなら、あなたは神の栄光を見る、とわたしは言ったではありませんか。」』

神の栄光を見るためには信じる必要があります。信じる力について次のような言葉があります。『信じる力があれば、これからの事が決められます。信じる力があれば、自分で目標を設定できます。信じる力があれば、何事にも挑戦できます。信じる力があれば、たとえ失敗しても、次はきつとうまくいく、と立ち直れます。信じる力があれば、自分の下した結論に責任が持てます。』

あなたは信じる事が出来るように創造されました。価値がわからなくなっている証拠に「どうせ」という思いがあります。あなたは「どうせ」が自分の思いの一番先に出てきてはいないでしょうか？それは、あなたの本来の姿ではありません。信じる力を取り戻すために①「価値を見出す」自分がどれだけ素晴らしく、価値のある存在として創造されたかを知る必要があります。「金」は誰でも価値のあるもの、ということを知っています。「金」は変わることがありません。銀よりよっぽど少ないので価値があるとわかります。そして、今の世界の通貨の価値は不安定なので「金」に価値を置いているわけです。だから金は世界的に価値があります。私たちが愛してくださった神様を愛することが出来るならば、神様に愛されている隣の人を愛し信じる事が出来ます。自信が無いと、人のことを妬み比較してしまいます。あなたにしか出来ないことがあります。②「価値を信じる」みんな「金」の価値を理解して信じています。価値というものを信じることが出来るならば、自分自身の価値を信じる事が出来、私たちが造られた神様の価値を信じる事が出来ます。そこで邪魔をするのが比較です。比較が起きていないでしょうか？比較しているということは、価値を本当に理解していない証拠です。一人ひとりにそれぞれの価値があることがわかれば比較する必要はないのです。私たちは神様によって愛されており、一人ひとりが高価で尊い存在なのです。③「信じることを愈する」。それが信念「金」はどうすれば純度を増すことが出来ますか？精錬すると純度が高められ不純物が無くなっていきます。私たちは神様によって純金のように、不純物が無いものとして創造されました。「金」は加熱することによって純度を増していきます。私たちは教会に来ることによって、教会のメンバーを通して精錬されていきます。神様によって愛されている事と、自分自身が価値のある存在という事を、信じる事が出来ない、不純物を増してしまいます。『ヘブル11:1～2 信仰は望んでいる事からを保証し、目に見えないものを確信させるものです。昔の人々はこの信仰によって称賛されました。』教会は「愛され」「価値があること」「役割があること」「祈ればこたえられること」を信じる事が出来るためにあります。価値があることを信じる人は、計画、目標を立てられ、それが失敗しても必ず次が上手くいくと信じる事が出来る人です。あなたを通して神様の計画がなされて、関わる人たちが幸せになります。だから自分の価値を信じて、裏切りに対して腹を立てずに、赦し合いましょ。みんなの弱さを理解し合い、赦し合っていきましょ。私たちはほとんど良いはずです。もし不純物があるのなら、神様と共に、完全に不純物を取り除かれ、純金のように神様が創造されたときの完璧な存在になっていきましょ。そして信じることによって、私たちを通して奇跡が起きるのです。（要約者：渡辺将宏）